夢の星新聞《1年生》

2026年11月2日（月）
発行 宇佐キャンパス
11月号 編集人：藤井・田所

11月号

～これからの社会をどう生きる！？～

これからの社会で必要な力って、どんな力だと思う？

急速な技術の進化







皆さん、唐突ですが、これからの社会は、どんな社会になっていくと思いますか？スーパーやコンビニでは、PayPayなどの電子マネーがあたり前のように使われ、ChatGPTを活用した文章や画像が世の中に溢れ、ミーティングだけでなく、企業間の営業活動までもzoom等で行われる時代になりました。10年前には考えられなかったことが、現実に起こっています。先日、テスラ社が映像を公開して話題になっていましたが、近い将来「空飛ぶクルマ」なんていうのもが、当たり前のように空を飛び交う時代がやってきそうです。20年後、皆さんが37・38歳くらいの社会は、一体、どのような社会になっているでしょうか？技術革新のスピードは本当に早い！どんな社会になっているのか？想像することはかなり難しいです。ただ、確かなことは、不確実で、複雑で、曖昧で、何が正解なのか？がよくわからない社会が到来するということです。そんな社会になった時に、皆さん自身が、自分らしく生きていくには、どのような力が必要なのか？それは、**”自分らしく選択していく力”** だと思います。自分がどうしたいのか？どうありたいのか？どんな生き方をしたいのか？ そして、それを見つけて、それを実現するためにはどうすればよいのか？を自分なりに考え、解決策を見つけて行動に移していくことが重要になってくると思います。保護者の方や、我々教職員、相談に乗ってくれそうな大人に、意見を求めることは大切です。しかし、相談に乗ってもらうだけで、最終的に決断するのは、皆さん自身です。何故なら、皆さん自身の人生だからです。例え、自分が選択した決断が、後で間違っていたと分かったとしても、分かった時点で、もう一度、一からやり直せばいい。皆さんの少し上、2007年生まれの人の半数が107歳まで生きる！といったデータがあります。**人生100年時代**。高校卒業後の進路もそうですが、これからの長い人生において、様々な場面で選択を迫られるタイミングがあると思います。その時に、人から勧められたからとか、社会からの評価が高いからとか、なんとなくの外発的な動機で選択するのではなく、自分が「〇〇したい」「〇〇でありたい」といった内発的な動機で選択するようにして下さい。そうすればきっと、自分なりに満足のいく生き方ができると思います。人生100年、精一杯、楽しんで下さい(^▽^)！

担任から、ひとこと

「由布岳」に登って思ったこと！

先日、矢野先生と3年生の芭菜さん、2年生の亮旺くん、そして、莞ちゃんの５人で「由布岳」に登ってきました！由布岳は、標高1,583m。下の写真は登山口から撮った写真ですが、下から山を見上げると、本当に頂上まで辿り着けるのだろうか？と不安になりましたが、目の前にある石や岩を見て、歩き易いルートを探しながら、ゆっくりではありますが、杖を使いながら1っ歩ずつ、約２時間半かけて頂上まで登ることができ、身体はきつかったけど達成感がありました。人生と一緒だと改めて思いました。



副担任から、ひとこと

実りの秋に思い出すこと　～稲刈りの匂い～

宇佐平野の稲穂も収穫が終わろうとしています。この時期、毎年思うことですが、稲を刈ったばかりの田んぼを通るととても懐かしく感じる匂いがあります。言葉で表現するのは難しいですが、おそらく皆さんも同じ匂いがしていると思います。私は、この宇佐で幼少の時期も過ごしました。小学校の頃は、田植えと稲刈りの時期、学校が１日休みとなる「農繋休業」がありました。昔は、子どもも貴重な人材でした。そうです



稲刈りは、すべて手で刈っていたからです。 懐かしく感じるのは、その時の匂いを思 い出すからです。「あー 今年も無事に 実りの秋を迎えられたなあ」